

# みんなで危険を安全に

【内容】製品安全 【貸出物】記録メディア・教師用解説書(冊子)

## ● 教材(記録メディア 収録内容)

パワーポイントによるデータ収録。自由に加工してアレンジ可能。  
ワークシート、ホームワーク、ペアレンツガイドはワード、一太郎のデータで収録。

### 危険さがし

花火や台所など日常生活のイラストを見て、何が危険なのか、どうすれば安全になるかを考える。  
ワークシートあり。



夏休み前には、花火の場面など、単独で使用することもでき、様々な活用が可能。

### 電子紙芝居

製品事故にあったとき、どうすればいいか考える。  
音声で自動再生する紙芝居データやワークシートあり。



<ストーリー>

おもちゃに指を切ってけがをした妹のふーちゃん。お兄ちゃんは、お母さん説明できるかな？

おもちゃにある大きなトゲ。他の子もけがをしているのではと考えたお兄ちゃんは……。



### おもちゃのマーク

おもちゃを選ぶ時の目安になるマークの紹介。  
おもちゃには、安全を示すマーク、おもちゃを使うときの注意を知らせるマークがあることをクイズ形式で楽しく学ぶ。



### 教師用解説書

【掲載内容】

- ・各教材についての使い方、解説
- ・45分授業スケジュール
- ・授業シナリオ
- ・学習指導案
- ・ワークシート、ホームワーク、ペアレンツガイド
- ・実践授業事例 など



本教材は、消費者庁のホームページで御覧いただけます。  
<http://www.caa.go.jp/information/index3.html>

## ●使用例

- 生活科の授業に
- 入学時のオリエンテーション、安全教育に
- 夏休み前の注意喚起に
- 学童保育の時間に
- PTAの研修に



### 【ねらい】

低学年児童にもわかりやすいイラストや紙芝居を用いた学習で、身近な生活の中の危険に気づき、安全な生活を選択できる力を身につける。

### 【消費者教育の観点】

- ・身の回りにある危険を察知し、家族に説明したり、回避できるようにする。
- ・製品事故については、自身の事故の再発を防ぐとともに被害拡大を防止するために、事故情報を提供することの大切さを考える。
- ・安全な商品を選択するためのマークがあることを知る。  
また、正しい使い方をしないと安全が守れないことを知る。

## ●貸出申込書

メールでの一部データの送付を希望の場合は、連絡事項欄へ「メール希望」と送付データ、送付先メールアドレスの記載をお願い致します。(データ容量の関係で対応できない場合もございます)

消費者庁消費生活情報課 消費者教育担当者 行 (FAX 03-3507-9285)

「みんなで危険を安全に」 バック教材貸出申込書	
申込日	年 月 日
団体名	
担当課(係)名	
ご担当者氏名	
送付先	〒
電話番号	
連絡事項	

### 【留意事項】

- ① 貸出は一団体あたり一部です。
- ② 貸出期間は消費者庁発送日より2ヶ月を限度とします。
- ③ 当教材を参考にして貴団体が冊子や教材等を作成されましたら、今後の参考として消費者庁まで一部お送りください(返却と同時になくても構いません)。
- ④ ご返送いただく際の郵送料についてはご負担をお願いします。